

2019年度
(令和1)

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
— 活動報告書 —
REPORT



認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

代表者 理事長 磯田憲一

理事 14名

監事 2名

スタッフ 常勤6名

沿革

平成17(2005)年4月 設立総会
 平成17(2005)年8月 NPO法人認証
 平成18(2006)年4月 指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託
 平成19(2007)年4月 カフェアルテ、ストゥディオアルテ(体験工房)オープン、運営受託
 平成19(2007)年4月 第1回安田侃の「こころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
 平成21(2009)年10月 北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
 平成22(2010)年1月 平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
 平成22(2010)年4月 アルテ市民ポポロ制度発足
 平成25(2013)年2月 北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞 受賞
 平成26(2014)年2月 認定NPO法人に認定される
 平成30(2018)年1月 第5回エクセレントNPO大賞「市民賞」を受賞
 平成31(2019)年1月 認定NPO法人の有効期間更新

彫刻と自然が融合し、訪れた人々の懐かしい記憶を呼び覚まし、静かに自分と向き合える空間として共感の輪を広げる美術館。この地で営まれてきた一人ひとりの切なる時間の集積に力を与えられ、新たな時を重ねています。木造校舎1階の美唄市立栄幼稚園は65年の歴史に幕を下ろしましたが、このかけがえのない空間を守り、バトンを次代につないでいくための挑戦をこれからも重ねてまいります。

新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながらの美術館運営に当たっては、皆様にも様々なご協力をお願いすることになりますが、新しい価値観を見出しながら、炭鉱のまち美唄の歴史の上のにぎわいを取り戻し、地域としての誇りを未来につなげていくために、今度ともNPOの取り組みに励んでまいります。皆様の更なるご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 磯田憲一

<認定NPO法人への寄附は税制優遇を受けられます>

認定NPO法人制度とは、<運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資する>として、「認定」を受けたNPO法人を支援する制度です。当法人を含む、認定NPO法人へ寄附をされると税制優遇のメリットがあります。(寄附金、団体会費が税法上の優遇措置の対象になり、アルテ市民ポポロ市民会費は対象になりません)

■認定NPO法人の税制優遇①

個人が認定NPO法人に寄附をした場合・・・

→寄附金控除を受けられます。

寄附者が確定申告することによって、税金の還付を受けることができます。

(寄附金額－2,000円)×*40%=減額

例：(20,000円－2,000円)×40%=7,200円の還付

※所得税40%、地方税10%、合計最大50%

■認定NPO法人の税制優遇②

法人が認定NPOに寄附した場合・・・

→損金算入限度額の枠が拡大されます。

■認定NPO法人の税制優遇③

相続人が認定NPOに寄附した場合・・・

→寄附をした相続財産が非課税になります。

<寄附でのご支援お待ちしております>

いただいたご寄附は、管理運営のために大切に使用させていただきます。郵便局に備え付けの「払込取扱票」で寄附が可能です。

郵便振替口座	02740-3-63900
加入者名	特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい
※通信欄には「寄附」とご記入下さい。	

4 4/20 「クリーン会」開始
 4/24-5/6 企画展「『炭山の碑』の記憶展」
 ※関連企画 4/28 「特別対談『時が生み出す力』」(舞踊家 花柳鳴介さんと館長 磯田憲一)



4/27 「定時ガイドツアー」開始
 5/25 第16回「アルテ〇〇の学校」(美(し)(い)(数)(学) ゲスト:正宗淳さん

6/29 「こころこころキャンドル作り」&
 「ポポロミーティング&ポポロパーティ」

7/7 「こころこころキャンドル作り」
 7/28 第17回「アルテ〇〇の学校」
 (イ)(ラ)(ス)(ト) ゲスト:佐藤正人さん



8/7-19 「思い出の炭鉱写真展」

8/10 「炭鉱映像館」

8/18 「てくてく美唄炭鉱-三井美唄編-」

8/13 「アルテの盆踊り」



9/7 延長開館・ライトアップ

9/15 第18回「アルテ〇〇の学校」(ピ)(ア)(ノ) ゲスト:川染雅嗣さん



10/4-6 「安田侃の『こころを彫る授業』」

10/26 「秋のポポロウォーキング」

12 10/30-11/25 「齊藤靖則模型展」 (共催: NPO法人 炭鉱の記憶推進事業団 / NPO法人 アルテピアッツァびばい)

※関連企画 11/9 ギャラリートーク



2/8~16 「アーカイブ資料公開:
 アルテピアッツァ美唄のあゆみ 1992-2019」



3 3/31 美唄市立栄幼稚園閉園

○「びばい食農アートまちづくり推進協議会」発足

2019年4月に「びばい食農アートまちづくり推進協議会」を設立し、美唄市農業協同組合、株式会社美唄自動車学校、有限会社貞広農場と共にその構成団体となりました。今を生きるすべての人が、無心に、自由に、思い思いの時間を過ごすための芸術広場「アルテピアッツァ美唄」が地域と人、人と人をつなぐ交流の機会を作り、その出会いをエネルギーとして地域が一体となって、美唄の農と食の力を活かしたまちづくりに取り組み、新しい時代の美唄を創造することを趣意としています。

この協議会では、農村地域等の振興を図る農林水産省の農山漁村振興交付金(2019-2020年度分)の交付を受けています。美唄は道内有数の穀倉地帯であり、農業に強みを持ちますが、隆盛を誇った炭鉱の閉山に伴う急激な人口減少、高齢化、社会経済情勢の変化等が相まって自治体の財政事情は厳しくなっています。ウェブサイトやSNS等を通じて美唄の魅力を発信してこの地を訪れる「交流人口」を増やして活力を生むこと、また美唄に居住していなくとも地域づくりに多様に関わる「関係人口」を大切にす意識をまちの方々と共有することから、新しい時代に向けてのまちづくりを目指しています。



アルテピアッツァ美唄を守る

○施設および環境の維持・管理・保全



彫刻はもちろんのこと、アートスペースやギャラリーなどの建築物、敷地内の芝生や木々など、アルテピアッツァ美唄の空間を構成するすべてに気を配り、訪れる方々に心地よく過ごしていただけるように、日々の清掃やメンテナンスを行いました。

4月から11月にかけて月2回、毎回2日間かけて、「水の広場」の流路・池の清掃を行いました。

6月には、近隣住民からご意見をいただき、カフェアルテ駐車場には砂ぼこりを減らす砂利を敷き、夜間には出入り不可とするチェーンをつけました。また、木造校舎廊下の木製窓枠の破損、音の広場投光器の破損等の修繕を行いました。

冬期間は例年になく雪が少なく除雪作業の負担は少なかった一方、水道凍結に苦慮しました。

彫刻の保全について、ブロンズ作品の保全について検討を行い、来年度から定期的にワックスがけすることにしています。

2月末から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各「こころを彫る授業」の中止・延期の他、2日間の臨時全面休館をしました。

○来訪者やお客様との対応



今年度は、全国各地から2万人を越えるお客様が来訪されました。

北海道内の美術館を巡る旅行会社のツアーで団体来訪されるケースも増えています。台湾からは不定期ながら、週に1,2度ほど団体来訪がありました。文化の違いもあり、海外の方には情報が伝わりにくいことが課題です。掲示物の表現を変えたり、位置を調整したり、景観に配慮しな

から工夫を重ねています。

アルテピアッツァ美唄は、彫刻作品を鑑賞する美術館であり、子どもが駆け回る公園であり、のんびり過ごす広場でもあります。訪れる目的がそれぞれに違う来訪者のみなさまが心地よい時間を過ごすためにはどんなことができるのか、日々スタッフで話し合いを続けています。

○コンサート・イベント・展覧会

プロアマ問わず、アートスペース(旧体育館)でのコンサート・イベントは30、ギャラリー(木造校舎2階)では23の展覧会がありました。

美唄市内小中学校やピアノ教室の発表会など市内在住者のほか、東京や大阪など、北海道外を拠点とする利用者も多くいらっしゃいました。

ギャラリーについては、来訪者が多い時期の利用人気が高く、希望が重なった場合は各利用者に相談しながら、スケジュールを調整しています。

また、来訪者からは「アルテにきて、たまたま見えたコンサート/展覧会だったけれど、とてもよかった」という声も聞かれています。



彫刻修復事業について

安田侃さんの彫刻作品は、アルテピアッツァ美唄のほか、北海道内外に点在していますが、そのうち、道内で最も多くの方に触れる機会の多い、JR札幌駅西コンコース南口に設置されている白大理石作品の「妙夢」(2003年設置)、そして札幌市・創成川公園に設置されている白大理石作品の「生誕」、「天秘」、「天秘」、「生棒」(2011年設置)の計5作品のメンテナンスを札幌駅総合開発株

式会社様や札幌市様との連携事業として行いました。JR札幌駅の「妙夢」では、主に手脂や汚れ、靴や靴のソールが擦れた跡などを取り除き、大理石の石質の健康を維持する措置を行いました。また創成川公園の4作品では、油シミや排気ガスによる汚れの除去、欠損部の補修を行ったのち、雨風や排気ガスなどから作品を守るため、すべての作品に保護コーティングを施しました。



アルテピアッツァ美唄を楽しむ

○企画展



4月24日から5月6日まで、企画展「『炭山の碑』の記憶」展を開催し、期間中3,079名にお越しいただきました。

炭鉱閉山後、美唄市が炭鉱の記憶を、後世に繋ぐことを美唄市で生まれ育った彫刻家・安田侃に託し(市内我路ファミリー公園に)「炭山の碑」はつくられました。アルテピアッツァ美唄にとって、原点ともいえる炭鉱の記憶を背負うこの彫刻に込められてきた思いを紹介しました。

4月28日には、「炭山の碑」を舞台に炭鉱殉職

者への慰霊のために舞う「やすらぎの舞」を開催してきた美唄市出身の舞踊家・花柳鳴介さんと磯田憲一館長による特別対談「時が生み出す力」を開催しました(入場数約100名)。花柳さんの実体験や美唄を心の支えに日本舞踊に打ち込んできたその思いをお聞きして、美唄市が育んできた人の力、人の想いの力を改めて感じた時間でした。

その他、炭山の碑等へ行くバスツアーも開催しました。

○体験工房スタジオアルテの活用 (「こころを彫る授業」「アルテ〇〇の学校」など)

毎月第一土日に開催している「こころを彫る授業」も13年目に入りました。今年度は10月に安田侃氏が直接指導する「安田侃の『こころを彫る授業』」を開催し、全国からのべ120名の方が参加してくださいました。この授業の様子はNHK北海道の番組で取り上げられ、多くの反響がありました。NPO法人の柱のイベントでもあるこの授業をより広く知ってもらうため、新たに「こころを彫る授業」のリーフレットを作成し、配布しています。ま

た、例年春休みに開催している「小学生のための『こころを彫る授業』」は新型コロナウイルス感染拡大予防のため延期となりました。

「誰もが参加できる小さな発見の場」というコンセプトで、アルテピアッツァ美唄にゆかりのあるゲストの方をお迎えして、不定期に開催している「アルテ〇〇の学校」、今年度は5月「美しい数学」、7月「イラスト」、9月「ピアノ」の全3回を開催しました。



○アルテ文庫

ギャラリーに設置している、安田侃さんセレクトの書籍が並ぶ「アルテ文庫」。いただいたご寄附より、書籍を購入し、本棚が充実していきます。2019年度は新たに12冊増え、全部で248冊の本が並んでいます。本棚の余白も少なくなってきました。

本を紹介するカードもあり、それぞれの本の安田侃さんまつわるエピソードなどを紹介しています。今後は紹介カードも充実させていくことが課題です。

○教育普及活動

年齢を問わず、訪れた方とアルテピアッツァ美唄の架け橋となるよう取り組みを進めてきました。5月には約200名の中学生を対象とした彫刻の鑑賞活動を行いました。グループ毎に野外彫刻を順番に巡り、スタッフと当館の美術鑑賞コミュニケーターが鑑賞のサポートを行いました。今年度は、残念ながら「小学生のための『こころを彫る授業』」を実施できませんでしたが、子どもたちが活動を通して、自然の中でのびのびと作ることの楽しさを感じることができるようプログラムを考えていきたいと思えます。春から秋にかけては毎週土曜日に「定時ガイドツアー」を実施しました。また、希望されるお客様を対象に、アルテピアッツァ美唄の概要を簡単に説明しました。

○情報発信

昨年度から着手していた新しいホームページを春に公開しました。利用者が必要な情報をより早く見つけられるように構成を考え、各ページの見やすさにも配慮しました。公開後も利用者の声を聞きながら、微調整を繰り返しています。SNSやブログの更新も続けており、日々のアルテピアッツァ美唄の様子をリアルタイムでお伝えするよう努めました。

メディア(テレビ、雑誌など)対応では、「誤解を招く/誤った表現が無いかなど、その都度内容を確認し、慎重に進めました。発行物としては、Arte通信vol.33、34を発行し、ポポロのみなさまへお届けするとともに、来訪者や北海道内外の主要美術館などにも配布しました。

○アーカイブ活動

2月に開催したアーカイブ資料公開では、企画展「アルテピアッツァ美唄のあゆみ1992-2019」をテーマに資料の展示を行いました。1992年のオープンに際し、広場整備や運営方式の変遷、アルテピアッツァ美唄で開催された主な行事など、アルテピアッツァ美唄のこれまでのあゆみを、当時の貴重な写真や図面などで振り返りました。企画展開催にあたり、改めて当時の関係者にお話を伺ったり、新たに資料提供していただくこともありました。

また、1年を通してアルテピアッツァ美唄オープン当時から関わってきた方々に聞き取りを行い、アーカイブ資料として記録に残しています。

今後も資料の調査や整理を進めていきます。

○炭山(やま)の記憶

アルテピアッツァ美唄では炭鉱町で過ごした人の故郷として、その記憶や思いを次の世代に語る場として、炭鉱の歴史を伝える活動をしています。

美唄へ帰省される方の多いお盆に「思い出の炭鉱写真展」を開催、往時の炭鉱地区の白地図



を掲示し、思い出を来訪者に記入していただいています。「炭鉱映像館」では市内在住の金沢俊美さんのご協力で往時の貴重な映像を上映することができました。毎年8月13日に開催している「アルテの盆踊り」には約170名の方にお越しいただきました。水の広場に灯した「ころころキャンドル」は、多くの方に作成の協力をいただきました。秋にはNPO法人炭鉱の記憶推進事業団との共催で、元炭鉱マンで、これまでに炭鉱関係施設の模型70点以上を制作している齊藤靖則さんの模型を展示する「齊藤靖則模型展」を開催しました。会期中に齊藤さんと炭鉱の記憶推進事業団の酒井裕司さんによるギャラリートークも開催し、多くの人が聞き入っていました。その他、炭鉱で栄えた場所を歩く「てくてく美唄炭鉱」も開催しました。

アルテピアッツァ美唄を未来へつなぐ

○アルテ市民ポポロ活動

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄を未来へ繋ぐ様々な活動しています。

そのひとつが、イタリア語で「市民」を意味し、アルテピアッツァ美唄を次世代へ繋いでいく思いを共通項としたコミュニティの「アルテ市民ポポロ」です。2010年のポポロ発足から続けてきた美唄市民向けの「美唄ポポロ」制度ですが、消費税増税や物価の上昇などを受け、今年度をもって廃止し、2020年度より「アルテ市民ポポロ」に

統合することになりました。

ポポロのみなさんに私たちNPO法人アルテピアッツァびばいの活動をお伝えすべく、年3回「ポポロだより」を発行しています。特に、毎回ポポロの方が執筆する「わたしのアルテピアッツァ」が好評です。NPOの活動をより身近に感じてもらうと、前号から文章を書いたスタッフの名前を記すことにしました。



	アルテ市民 popolo	団体会員						
内容	アルテピアッツァ美唄を次世代へつなぐ思いを共通項としたコミュニティ。							
会員になると	<ul style="list-style-type: none"> ●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信、popoloだよりが届き、アルテの現在（いま）を知ることができます。 ●ポポロミーティングで意見を述べたり、ポポロの催しに参加したりすることができます。 ●「ころを彫る授業」を1000円割引（継続参加は200円割引）でうけられます。 ●「安田侃の『ころを彫る授業』」など、不定期開催の主催イベントのお知らせが届きます。 	 <p>※2019年度市民証</p>						
金額	<ul style="list-style-type: none"> ●市民会費 <table border="0"> <tr> <td>ポポロ</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>コポポロ（中学生以下）</td> <td>500円</td> </tr> </table> <p>※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。 ※「美唄ポポロ」は2019年3月に「ポポロ」に統合しました。</p>	ポポロ	3,000円	コポポロ（中学生以下）	500円	<ul style="list-style-type: none"> ●団体会費 <table border="0"> <tr> <td>団体会員 一口</td> <td>30,000円</td> </tr> </table> <p>※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。</p>	団体会員 一口	30,000円
ポポロ	3,000円							
コポポロ（中学生以下）	500円							
団体会員 一口	30,000円							
●団体会員	<p>アーキサイトメビウス株式会社 有限会社東オートセンター いとう写真 株式会社カンディハウス 株式会社岸本組 学校法人光塩学園 札幌アルト株式会社 札幌通運株式会社 株式会社三和重機 株式会社シー・アイ・エス計画研究所 空知商工信用組合</p> <p>玉田産業株式会社 宗教法人長延寺 医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック 医療法人はまなす 東戸公認会計士事務所 一般社団法人美唄市医師会 美唄市市議会議員会 株式会社美唄自動車学校 美唄市農業協同組合 手打ちそば美唄匠の会 広瀬建設工業株式会社</p>	<p>弁護士法人ファースト&タンデムスプリント法律事務所 北星学園大学 北海道クリーン・システム株式会社 村松法律事務所 メガネの三愛 山口物流株式会社 株式会社雪屋媚山商店 税理士法人TACS 有限会社TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE 他1社</p>						

(2020年3月31日現在)

○書籍・グッズ

書籍・グッズなどの販売事業は、アルテを未来へ繋げるための貴重な収入源となっています。オリジナルのトートバッグやクリアファイルなどが定番グッズとなり、再度買い求める方も多くいらっしゃいます。

また、毎年新しいオリジナルグッズを検討し、試作を重ねています。毎年好評のカレンダーは今年度も通信販売や委託販売での注文が多く、計1300部を超える販売数となりました。



○カフェアルテの運営

昨年度から軽食メニューとして始めたイタリアのサンドイッチ「パニーノ」は定期的に食材を変えたり、スープをセットにするなど、よりお客様の満足度が高くなるように工夫しています。また、カフェのお土産として手軽に購入できるように、新たにイラスト入りの統一したパッケージを作成し、イタリアのお菓子「ビスコッティ」の販売も開始しました。



活動計算書

(2019年4月1日から
2020年3月31日まで)

科目	金額		
I. 経常収益			
1. 受取会費			
ポポロ市民会費収益	1,428,000		
美唄ポポロ市民会費収益	56,500		
コポポロ市民会費収益	5,500		
会員会費収益	150,000		
団体会費収益	1,140,000	2,780,000	
2. 受取寄附金			
募金箱寄附	1,918,485		
寄附金	2,111,770		
広報事業寄付	170,000		
アルテ文庫寄附	50,000	4,250,255	
3. 事業収益			
指定管理者事業収益	20,678,165		
工房活用事業収益	1,358,040		
教育普及事業収益	70,150		
広報事業収益	209,500		
炭山の記憶事業収益	93,600		
喫茶事業収益	10,295,970		
販売事業収益	4,115,091		
連携事業収益	1,892,715		
アルテ市民popolo事業収益	42,900	38,756,131	
4. その他収益			
受取利息	147		
雑収入	20,000	20,147	
経常収益計			45,806,533
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費	20,970,014		
(2)その他経費	19,094,048		
事業費計		40,064,062	
2. 管理費			
(1)人件費	49,577		
(2)その他経費	2,767,693		
管理費計		2,817,270	
経常費用計			42,881,332
税引前当期経常増減額			2,925,201
法人税等			80,000
当期正味財産増減額			2,845,201
前期繰越正味財産額			14,260,053
次期繰越正味財産額			17,105,254

事業費・管理費 内訳

科目	指定管理	工房事業	アルテ文庫	教育普及	広報	アーカイブ	炭山の記憶	喫茶	販売	連携事業	アルテ市民	管理費	合計
(1) 人件費													
給与手当	10,493,443	1,065,887			532,946	287,438	273,684	5,410,625		862,712			18,926,735
福利厚生費	1,295,169	3,199			1,599	819	741,234			1,259		49,577	2,092,856
人件費計	11,788,612	1,069,086	0	0	534,545	287,438	274,503	6,151,859	0	863,971	0	49,577	21,019,591
(2) その他経費													
売上原価		60,428					19,974	3,133,643	1,328,101		36,529		4,578,675
業務委託費	3,154,316							82,500				1,819,922	5,056,738
諸謝金		35,611			21,800	1,100	50,048	3,300			3,300	5,500	120,659
印刷製本費	84,150	39,100			221,902			3,400	70,600		189,084	66,092	674,328
旅費交通費	5,760	8,420		12,230	67,580	3,020	3,740		9,460	8,808	2,980	31,570	153,568
通信費	209,974	67,089			62,319		4,905	113,019	51,425	560	310,677	167,218	987,186
消耗品費	738,187	7,884			92,240	33,646	10,485	356,474	27,827	153,725	5,883	246,244	1,672,595
修繕費	423,176												423,176
水道光熱費	5,034,024							245,347				72,407	5,351,778
地代家賃								120,000				40,000	160,000
賃借料					5,000					75,600			80,600
保険料	27,700						1,100	2,700			1,260		32,760
諸会費								1,000				30,000	31,000
研修費				8,020									8,020
慶弔費													0
租税公課	859,900	57,600		2,800	8,400		2,800	317,400	79,200	82,380	1,400	100	1,411,980
支払手数料												229,200	229,200
新聞図書費		150	28,400										28,550
広告宣伝費					553,840								553,840
支払報酬													0
会議費							1,820						1,820
交際費												35,350	35,350
雑費		1,854	108		2,113			76,462	95,069	1,468	68,754	24,090	269,918
その他経費計	10,537,187	278,136	28,508	23,050	561,168	37,766	94,872	4,455,245	1,661,682	322,541	619,867	2,767,693	21,861,741
費用計	22,325,799	1,347,222	28,508	23,050	1,055,941	325,204	369,375	10,607,104	1,661,682	1,186,512	619,867	2,817,270	42,881,332

※貸借対照表はホームページでご覧になれます。印刷したものが必要な方は事務局までご連絡ください。

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄

KAN YASUDA SCULPTURE MUSEUM ARTE PIAZZA BIBAI

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄はかつて日本有数の炭鉱都市だった美唄市の山間にある野外彫刻美術館です。美術館には地元出身で国際的に知られるイタリア在住の彫刻家、安田侃の大理石やブロンズの作品40点余が展示されています。炭鉱住宅跡に再生された木々茂る山々や清流に囲まれた空間では、四季の移り変わりを満喫できます。



● 開館時間

水曜日～月曜日

午前9時～午後5時

入館無料(任意によるご寄附をお願いしています)

● 閉館日

毎週火曜日・祝日の翌日

(日曜日は除く)

12月31日～1月3日

● 交通

電車：JR函館本線利用で札幌より35分、

新千歳空港より80分(札幌で乗り換え)。

美唄駅下車、市民バス東線「アルテピアッツァ美唄」

行き乗車。(東明通り経由32分、旭通り経由19分)

車：道央自動車道利用で

札幌JCTより35分。

美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

● 定時ガイドツアー

アルテピアッツァ美唄をスタッフがご案内します。

日時：毎週土曜日10時～(約30分) 無料

集合：アートスペース(旧体育館)前

※天候等により、予告なしに中止する場合があります。



安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄

〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町

TEL/FAX 0126-63-3137

URL <http://www.artepiazza.jp/>

炭鉱メモリアル森林公園 ●

妙夢
MYOMU

2019(令和1)年度 認定NPO法人アルテピアッツァびばい活動報告書

発行：認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

発行日：2020年5月31日

表紙写真：小川重雄